

下都賀管内水稲技術資料 No.4

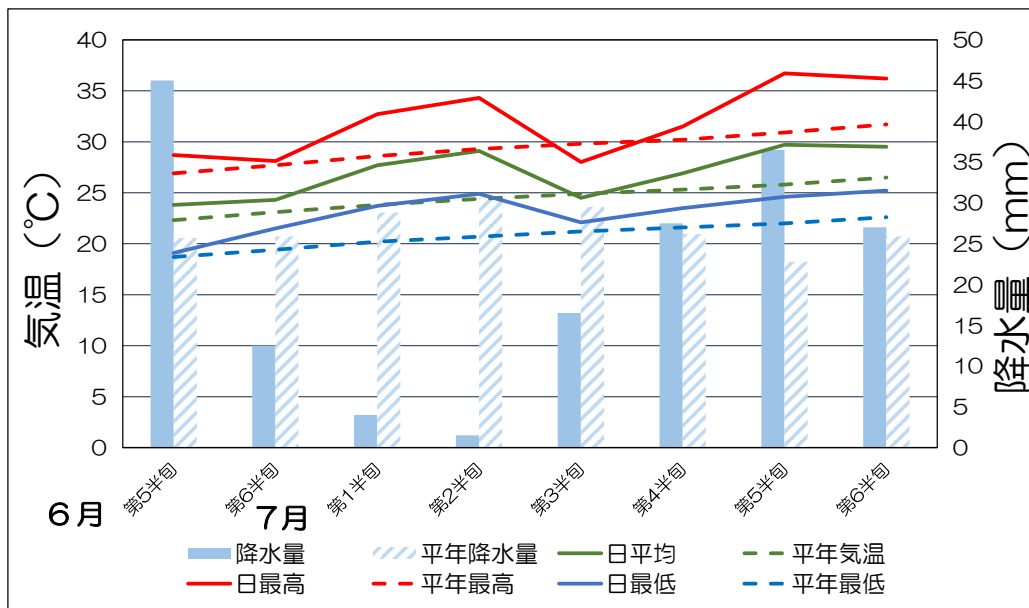
令和6年8月
下都賀農業振興事務所

重点ポイント

- ①7月21日出穂の水稲の刈取適期は8月24日頃と予測されます。
- ②出穂期は最も水を必要とする時期なので、水を切らさないようにしましょう。
- ③斑点米カメムシ類やイネカメムシが発生しています。ほ場の内外を確認して、適期防除を行いましょう。

1 気象の経過

7月第3半旬(7/11~15)は平年よりも日平均気温や日最高気温が低くなりましたが、概ね気温は高く推移しました。関東甲信越では7月18日に梅雨明けしました。7月第4半旬から第6半旬(7/16~31)は降水量が平年よりも多い状況でした。



※小山市アメダスデータ

2 1ヶ月予報 (7月25日発表)

今後も高温が予想されます

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 07/27~08/26	10% (低) 10% (平) 80% (高)
		1週目 07/27~08/02	10% (低) 10% (平) 80% (高)
		2週目 08/03~08/09	10% (低) 10% (平) 80% (高)
		3~4週目 08/10~08/23	10% (低) 20% (平) 70% (高)
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 07/27~08/26	30% (低) 40% (平) 30% (高)
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 07/27~08/26	30% (低) 30% (平) 40% (高)

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

3 早植・水稻生育診断ほ（7月19日調査）の生育調査結果

5月3日植えの早植のほ場では、7月21日に出穂しました。草丈は前年並みの長さとなっています。今年のコシヒカリについては、最高分げつ期の茎数はやや多く、有効茎歩合は前年よりも低くなると想定されます。葉色は前年よりやや濃くなっています。

表1 水稻生育診断ほ（小山市鏡）の生育調査結果

品種：コシヒカリ 移植日：5月3日	本年 (7月19日調査)	昨年
草丈 (cm)	108.8	107.1
茎数 (本/m ²)	467	502
葉齢	13.0	12.8
葉色 (葉色板)	4.0	3.2
生育診断値 (葉色×茎数)	1,848	1,629

4 早植の刈取予測

7月21日に出穂した場合の収穫時期（積算温度 1000~1100℃）は、

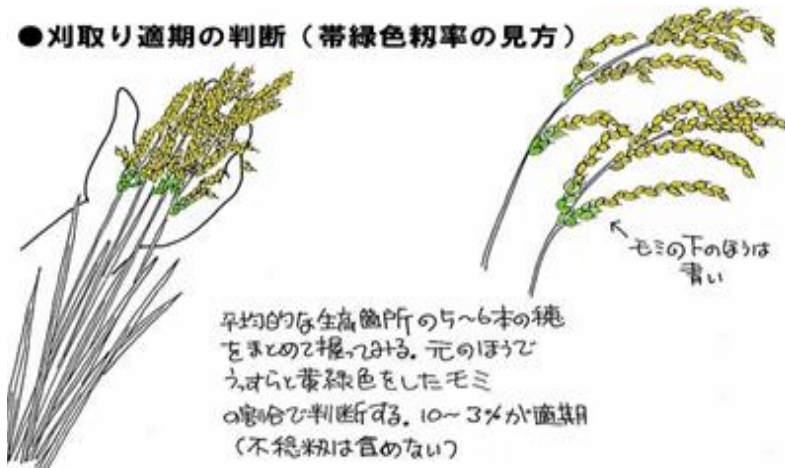
- ①今後気温が平年並みで推移した場合は、**8月26日頃**
- ②今後気温が平年+2℃で推移した場合は、**8月24日頃** と予測されます。

表2 出穂期別刈取時期予測

出穂期	刈取時期	
	平年並み	平年+2℃
7月21日	8月26日	8月24日
7月26日	9月1日	8月29日
7月31日	9月7日	9月4日
8月5日	9月13日	9月9日

また、刈取適期の判断は帯緑色籾率で行うことが最も信頼できますので、時期になったらほ場をよく確認して、刈り遅れないようにしましょう。

●刈取り適期の判断（帯緑色籾率の見方）



「帯緑色籾率」とは、1穂の中に僅かでも青みが残っている籾の数の割合(%)のことです。帯緑色籾率が10%になったら刈始め、3%になるまでに終わらせます。葉や枝梗は緑色でも、籾はすでに黄変して刈取り適期を過ぎている場合がありますので注意が必要です。

※不稔籾は含まずに見てください。

(出典:「安心イネづくり」p82(農文協))

5 水管理〈白未熟米・胴割粒 対策〉

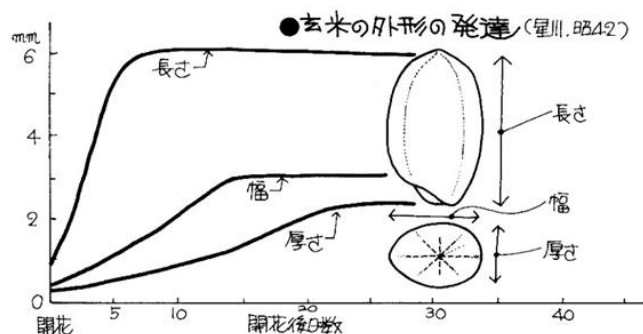
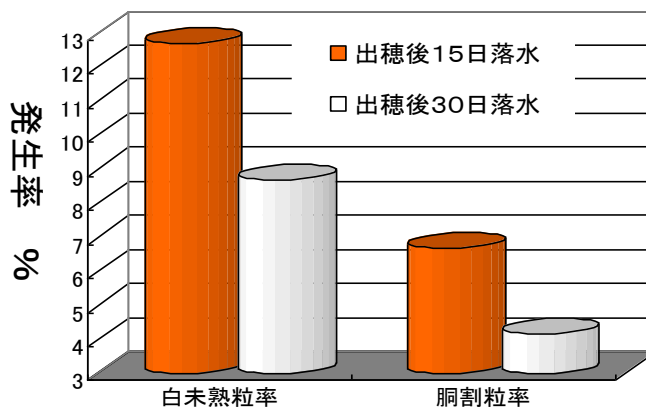
出穂～登熟中期に水不足になると、水稻品質を著しく低下させますので、**間断かん水を継続し、早期落水は絶対に行わないようにしましょう。**

・今年6月の降水量が少なく、ダム貯水率が低下しています。取水制限などにより用水が不足した時に備え、灌水方法や用水の有効活用について地域で話し合っておきましょう。

・出穂後20日間の平均気温が27℃を超える高温年の場合は夜間かん水等により地温の低下を図りましょう。特に穂の温度(穂温)を低く保つようにしましょう。

・**出穂後30日程度は落水しない。**落水後も高温が続く場合は、ほ場条件を考慮し、収穫10～7日前まで走水を行きましょう。

・玄米の粒厚が厚いほど白未熟粒率や蛋白質含有率が低下し品質・食味が向上するので、最後までしっかり登熟できるように、落水を急がないようにしましょう。



6 斑点米カメムシ類対策

令和6(2024)年度植物防疫ニュース(No.11)(令和6(2024)年7月17日発表)によると、斑点米カメムシ類の捕獲数は多い(平年比182%)としています。

気象庁発表の1か月予報では、平均気温は高いと予想されていることから、斑点米カメムシ類の増殖や活動に好適な条件が続くと考えられます。また、出穂の早い水稻ほ場では、斑点米カメムシが多いことが確認されています。

大型の斑点米カメムシ類の一種であるイネカメムシも県内で発生が確認されています。このカメムシは、他の斑点米カメムシと違い、畦畔等の草刈りの効果があまり期待できません。出穂直後にほ場内で見られた場合は、早急に液剤による防除を行い、穂揃い期以後も見られる場合は、追加防除を行きましょう。

表2 すくい取り調査による斑点米カメムシ類捕獲虫数（調査日：7月上中旬）

頭数	クモヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	カスミカメ類 ^{※2}	斑点米カメムシ類 合計
本年値	11.9	5.8	431.7	463.4
平年値	20.3	3.7	227.0	254.3
(平年比(%))	(59)	(158)	(190)	(182)
発生程度	やや少	やや多	多	多

※1 令和6年7月上中旬にイネ科雑草地等33地点を調査
各地点20回振りのすくい取り調査

※2 カスミカメ類は、イネホソミドリカスミカメとアカスジカスミカメの合計値

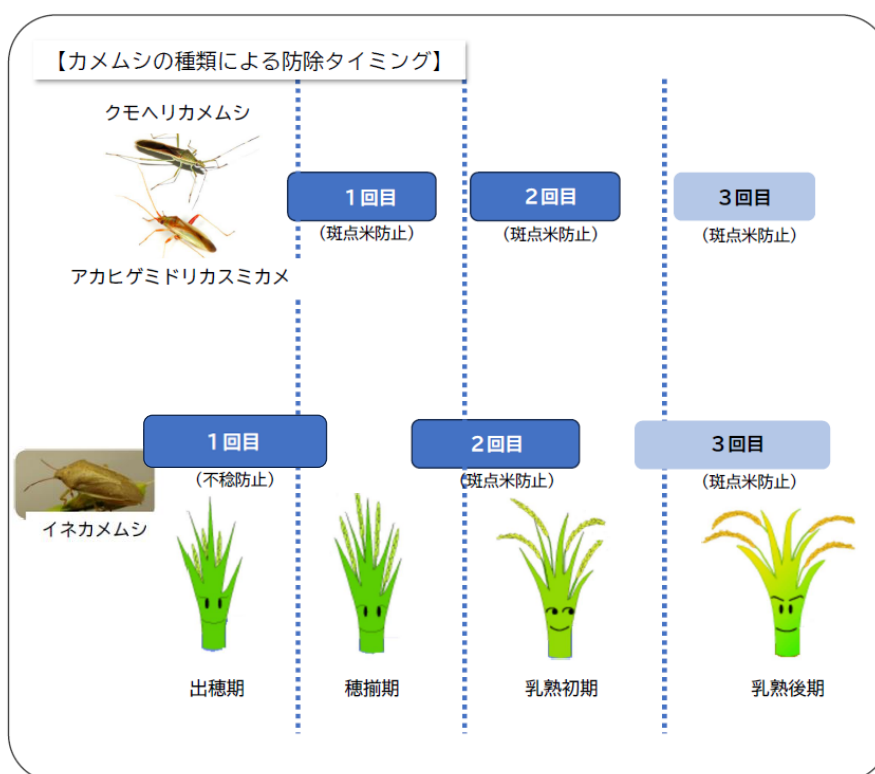


表3 水稻のカメムシ類に登録のある主な薬剤（令和6（2024）年7月10日現在）

農薬名	希釈倍数 又は使用量	使用時期	本剤の 使用回数	成分	農薬の系統	IRAC コード
ダントツ粒剤	3～4 kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	クロチアニジン	ネオニコチノイド	4A
スタークル液剤10	1000倍	収穫7日前まで	3回以内	ジノテフラン		
エクシードフロアブル	2000倍	収穫7日前まで	3回以内	スルホキサフロル	スルホキシイミン	4C
トレボンEW	1000倍	収穫14日前まで	3回以内	エトフェンプロックス	ピレスロイド	3A
キラップフロアブル	1000～2000倍	収穫14日前まで	2回以内	エチプロール	フェニルピラゾール	2B

注1：IRACコードが同一のものは作用点が同じなので連用を避ける。

注2：斑点米カメムシ類の薬剤防除は、水田周辺のミツバチに影響を及ぼす可能性があるため、地域の養蜂家へ薬剤防除日を事前に周知する等の積極的な対応を行う。

7 普通植・水稲生育診断ほ(栃木市皆川城内町)の生育調査結果

普通植は、草丈と葉齢は一昨年並みです。また、一昨年と比較して、莖数は多く、葉色は濃くなりました。出穂期は8月9日頃と予想されています。

品種：とちぎの星 移植日：5月23日	本年 (7月19日調査)	一昨年
草丈 (cm)	81.8	80.7
莖数 (本/m ²)	468	373
葉齢	11.3	11.3
葉色 (葉色板)	3.5	4.4
生育診断値 (葉色×莖数)	1,647	1,628

※昨年は葉害が発生したため一昨年と比較しています。

～栃木県からのお知らせです～

6月～8月は、「栃木県農薬危害防止運動」の実施期間です。



- ・安全作業の第一歩！ 農薬散布時の身支度は万全に！
- ・いつものチェック！ 農薬使用の際は、ラベルをよく読み正しく使いましょう！
- ・農薬散布のその前に！ 風量や風向きに注意して、飛散防止に努めましょう！
- ・周辺への配慮！ 住宅地等でやむを得ず農薬を使用する際は十分に配慮しましょう！
- ・農薬散布のその後に！ 防除器具の洗浄も必ず行いましょう！

問い合わせ先

栃木県下都賀農業振興事務所 経営普及部 農畜産課 0282-24-1101

HP <http://www.pref.tochigi.lg.jp/g54/index.html>